

平成22年9月30日

(報道発表資料)

東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社

災害用伝言ダイヤル(171)および災害用ブロードバンド伝言板(web171)の 体験利用日の拡大について

NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズの三社は、災害等の発生によって連絡が取りにくい場合、家族、親戚、知人などの安否情報をより確実に音声等で確認できる手段として、災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)^{※1}及び災害用ブロードバンド伝言板(web171)^{※2}を提供、運用しています。

“いざ”という時にスムーズにご利用いただくには、日頃から家族、親戚、知人などの間で安否を確認するための「キーとする電話番号」^{※3}を予め決めておくことや、「自分の無事を伝える」ことに慣れておくために事前に体験することが有効であり、より多くの方々に連絡方法を確認していただくことを目的に、体験できる機会を追加設定して運用します。

【体験利用日の拡大】平成22年10月15日より“毎月15日”(0時～24時)

* 体験利用日において実際に災害が発生した場合は、体験利用を中止する場合があります。

“毎月1日”^{※4} “正月三が日”^{※5} “防災週間”^{※6} “防災とボランティア週間”^{※7}にも、災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用ブロードバンド伝言板(web171)を運用しています。

※1 災害用伝言ダイヤル(171)は音声通信の付加サービスであり、NTTコミュニケーションズが提供するサービスですが、実際の災害発生時には、災害の発生地域等に応じて、NTT東日本およびNTT西日本がそれぞれ運用します。一般加入電話、公衆電話、ひかり電話(電話サービス)からご利用できます。携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者へお問い合わせください。

※2 災害用ブロードバンド伝言板(web171)は、NTT東日本およびNTT西日本が提供・運用します。

※3 災害用伝言ダイヤル(171)で「キーとする電話番号」として設定できる番号は一般加入電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話は除く)の番号です。また、災害用ブロードバンド伝言板(web171)では一般加入電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話も含む)、携帯電話、PHS等の番号で設定が可能です。

※4 毎月1日 0時 ～ 24時

※5 毎年1月1日 0時 ～ 1月3日 24時

※6 毎年8月30日 9時 ～ 9月5日 17時

※7 毎年1月15日 9時 ～ 1月21日 17時

なお、体験利用期間中であっても次項【ご利用料金】に記す利用料金がかかります。

<参考>

災害用伝言ダイヤル(171)及び災害用ブロードバンド伝言板(web171)の詳細は、以下のホームページで紹介しております。

NTT東日本URL: <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

NTT西日本(171)URL: <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

NTT西日本(web171)URL: <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

【ご利用料金】

・災害用伝言ダイヤル(171)

発信されるお客様から被災地の「キーとする電話番号」までの伝言の録音、または再生にかかる通話料(通常、電話をおかけになる場合と同様の料金)が必要です。

伝言蓄積等のセンター利用料は無料です。

例えば、東京の電話番号をキーに大阪から伝言を録音・再生する場合、大阪-東京間の通話料金がかかります。

・災害用ブロードバンド伝言板(web171)

安否情報の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。

なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料および、ダイヤルアップ接続の場合は通信料等が別途必要となります。

《別紙1》 体験利用日における災害用伝言ダイヤル(171)のご利用条件、操作方法等について

《別紙2》 体験利用日における災害用ブロードバンド伝言板(web171)のご利用条件、操作方法等について

＜お客様からのお問い合わせ先＞

局番なしの「116」

【受付時間】

NTT東日本	9時～21時	土・日・祝日も営業 年末年始12/29～1/3を除く
NTT西日本	9時～17時	

≪別紙1≫

体験利用日における災害用伝言ダイヤル(171)(電話サービス)のご利用条件、操作方法について

【概要、提供状況等】

災害用伝言ダイヤル(171)は、災害発生により被災地等への安否確認の電話が殺到して電話がかかりにくい状態になった時に、被災地の自宅電話番号等をキーにして安否等の伝言をお預かりし、被災地内外の家族や親戚、知人等との安否連絡を可能にする声の伝言板です。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ災害発生時の緊急連絡手段として開発されたもので、平成10年3月から提供を開始しています。最近では、中国・九州北部豪雨(平成21年7月)、駿河湾の地震(平成21年8月)、九州、中国、四国地方及び、岐阜県内における集中豪雨(平成22年7月)の際に運用する等、これまでに33回の運用を行い、約134万件^{※1}のご利用をいただいております。

※1 録音と再生の延べ件数です。

【運用時におけるご利用条件】

	体験利用の場合	実際の災害発生時
利用可能地域	全国	同左
登録可能電話番号	全国の一般加入電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話は除く)	被災地およびその周辺(都道府県単位)の一般加入電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話は除く)
伝言録音時間	30秒	同左
伝言保存期間	6時間 ^{※2}	48時間
蓄積伝言数	10伝言	被災規模に応じ、1~10伝言に設定

※2 6時間を超えなくても、「体験利用」終了で伝言は削除します。

【ご利用にあたっての留意点】

- ・家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」を予め決めておいて下さい。
- ・限られた録音時間内での確に情報を録音できるようお話し下さい。
- ・伝言を再生する場合は、登録の際の「キーとする電話番号」を指定する事でご利用できます。

【災害用伝言ダイヤル(171)の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操作手順		伝言の録音		伝言の再生	
①	171をダイヤル	1 7 1			
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンタです。録音される方は「1」、再生される方は「2」、暗証番号を利用する録音は「3」、暗証番号を利用する再生は「4」をダイヤルしてください。			
		(暗証番号なし)		(暗証番号あり)	
		1	3	2	4
		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX	
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地の方はご自宅の電話番号、または、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。被災地域以外の方は、連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。 0 XXX XXXX XXXX			
伝言ダイヤルセンタに接続します。※1					
④	メッセージの録音 メッセージの再生	[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXXX(暗証番号XXXX)の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」のあとシャープを押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。尚、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。			
		ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合	ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	1 #	(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	1 #
		[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、電話をお切り下さい。	[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピツという音の後に、30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら、数字の9の後シャープを押して下さい。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。伝言を繰返す時は、数字の8の後シャープを、次の伝言に移る時は、数字の9の後シャープを押して下さい。
		伝言の録音		伝言の再生	
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	録音終了後 9 # [ガイダンス] 伝言を繰返します。訂正される時は数字の8の後シャープを押して下さい。 録音した伝言内容を確認する。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。伝言を追加して録音される時は、数字の3の後、シャープを押して下さい。 (ガイダンスが流れるまでお待ちください)
[ガイダンス] 伝言をお預かりしました。		[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です			
⑤	終了	自動で終話します。			

通話料は発生しません

通話料が発生します※2

※1 センタ利用料について

伝言録音・再生を行うためのセンタ利用料は無料です。

※2 通話料について

「メッセージの録音」操作時において、録音できる伝言数を超えていた場合、または、「メッセージの再生」操作時において、お預かりしている伝言がない場合は通話料はかかりません。

覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)

《別紙2》

体験利用日における災害用ブロードバンド伝言板(web171)のご利用条件、
操作方法等について

【概要】

災害用ブロードバンド伝言板(web171)は、災害発生時にインターネットを活用して音声やテキスト等を用いて被災地内外の家族や親戚、知人などと安否等を確認できるツールとして平成17年8月に試行運用を行い、平成18年10月から本格運用しております。

最近では、中国・九州北部豪雨(平成21年7月)、駿河湾の地震(平成21年8月)、九州、中国、四国地方及び、岐阜県内における集中豪雨(平成22年7月)の際に運用する等、これまでに11回の運用を行い、約2万9千件^{※1}のご利用をいただいております。

※1 登録と閲覧の延べ件数です。

【運用時におけるご利用条件】

項目	体験利用の場合	実際の災害発生時	
安否情報の新規登録および追加登録	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン及び携帯電話等 ^{※2}	同左
	登録可能電話番号(被災地電話番号)	全国の一般加入電話、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話も含む)、携帯電話、PHS	被災地内等の全ての一般加入電話 ^{※3} 、IP電話(050の電話番号から始まるIP電話も含む)、携帯電話・PHS
	登録可能エリア	全国	同左
	伝言入力方法	テキスト入力 (1伝言あたり全角100文字以下)	同左
	添付可能ファイル * ()内は1ファイル 当たりの最大サイズ	wav形式の音声ファイル (1Mバイト以下)	同左
		jpg、jpeg形式の静止画ファイル (1Mバイト以下)	同左
		wmv、avi形式の動画ファイル (10Mバイト未満)	同左
	登録可能件数	新規登録:1件/1電話番号 追加登録:9件/1電話番号	同左
保存期間	6時間 ^{※4}	48時間	
安否情報の閲覧	ご利用できる端末等	インターネットに接続ができるパソコン及び携帯電話等 ^{※5}	同左
	閲覧可能エリア	全国	同左

※2 機種によってはご利用いただけない場合があります。

※3 番号エリア設定は市外局番を単位とします。

※4 6時間を超えなくても、「体験利用」終了で伝言は削除します

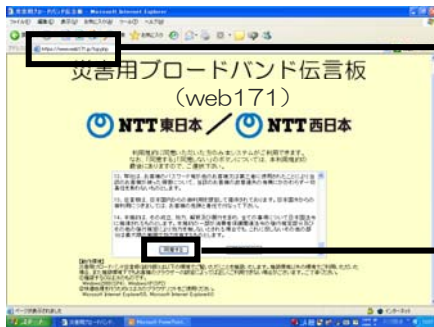
※5 機種によってはご利用いただけない場合があります

【ご利用にあたっての留意点】

- ・家族や親戚、知人等との間で、登録の際の「キーとする電話番号」を予め決めておいて下さい。
- ・文字数やファイルのサイズに制限がありますので、ご注意ください。
- ・伝言を閲覧する場合は、登録の際の「キーとする電話番号」を指定する事でご利用できます。

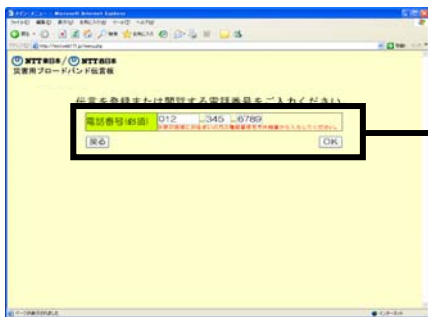
【災害用ブロードバンド伝言板(web171)の基本的操作方法】

①安否情報(伝言)の新規登録方法

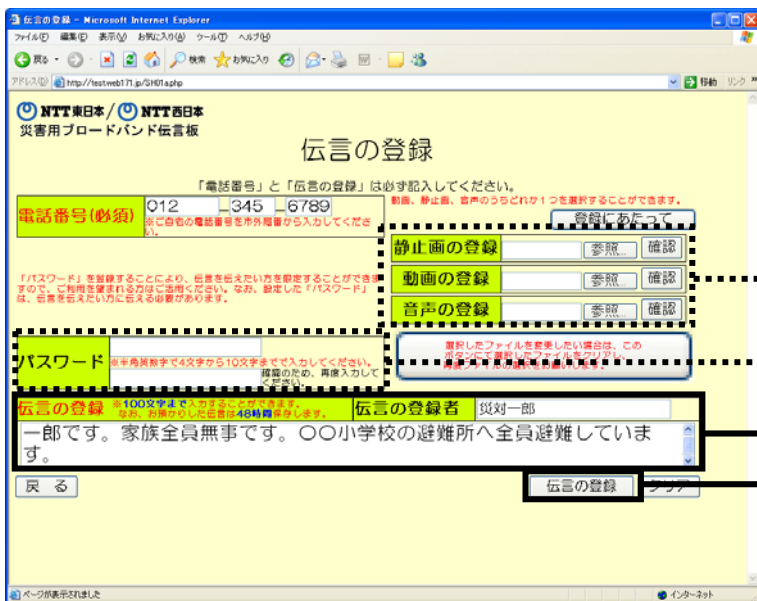


https://www.web171.jp/ へアクセス

利用規約をご覧頂き、「同意する」ボタンをクリック



伝言を登録または閲覧する電話番号を入力し、「OK」をクリック



初めての登録の場合は、自動的に初期登録画面が表示されます。

※静止画、動画、音声のうち、何れか1ファイルの登録が可能です。(災害の規模により制限させていただく場合がございます。)

※「パスワード」の項目に、入力する(任意)ことで、セキュリティをはかることが可能となります。

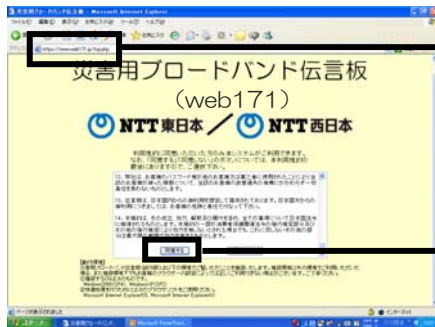
「伝言の登録者」の項目を入力後、「伝言の登録」の項目に、100文字以内で入力

「伝言の登録」ボタンをクリック



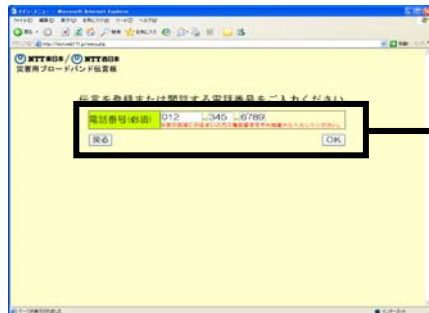
伝言の新規登録完了

②安否情報(伝言)の閲覧ならびに追加方法



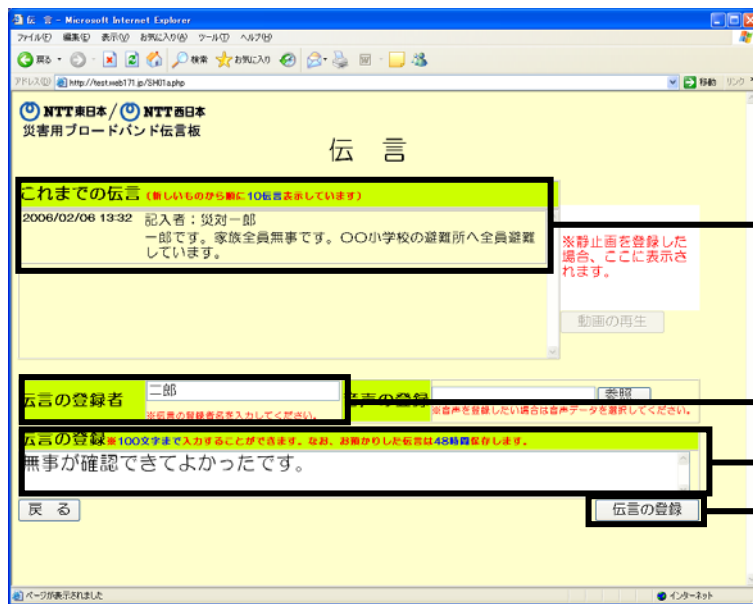
https://www.web171.jp/ ヘアアクセス

利用規約をご覧頂き、「同意する」ボタンをクリック



伝言を登録または閲覧する電話番号を入力し、「OK」をクリック

※伝言の初期登録時にパスワードを設定している場合は、パスワードを尋ねられますので、その場合は、「電話番号」と「パスワード」を入力した後、「検索」をクリックしてください。



伝言の閲覧

—以下、伝言を追加で登録する場合—

「伝言の登録者」を入力

「伝言の登録」の項目に、100文字以内で入力

「伝言の登録」ボタンをクリック



伝言の追加登録完了